

信濃川大河津資料館友の会だより

イベントのお知らせ

友の会講座 『川の物語発表会』 参加者募集!!

11月18日(土)に友の会講座「川の物語発表会」を開催します。信濃川などの川にちなんだ歌や踊り、身近な川を調べた結果などを発表いただきます。そこで、講座で歌や踊り、調査結果を発表していただける会員の方を募集しています。希望される方は信濃川大河津資料館までご連絡いただくか同封の葉書にてお知らせ下さい。

日時：11月18日(土) 10:00~12:00

会場：信濃川大河津資料館2F 多目的ホール

友の会講座 中ノ口川バスツアー

●見学箇所(予定)●

①中ノ口川・信濃川分岐点②燕市大曲河川公園③昭和36年洪水で米俵を積んだ箇所(通過)④黒埼常民文化資料館⑤三川合流地点・白根排水機場⑥ウォーターシャトル(乗船)⑦新潟市歴史博物館みなとぴあ

日時：10月25日(水) 9:00~18:30

参加費：6000円程度

定員：30名

集合：信濃川大河津資料館1Fロビー

申込み：葉書に必要事項を記入の上投函下さい。

講座 文化と芸能

講座「文化と芸能」では、郷土芸能のおけさや神楽の公演をはじめ信濃川と郷土芸能にまつわる講演会を開催します。

日時：11月5日(土) 14:00~16:00

会場：信濃川大河津資料館、大河津出張所

定員：50名

※日時は協力者の都合により変更となる場合があります。その際はご連絡いたします。

講座 野鳥観察会

オジロワシや大河津分水の野鳥に関する講演と現地での野鳥観察を行ないます。

日時：11月18日(土) 14:00~16:00

会場：信濃川大河津資料館 大河津分水公園

定員：50名

企画展『大河津分水の自然一魚、野鳥』

10月21日(土)~11月26日(日)まで企画展「大河津分水の自然一魚、野鳥」を資料館1Fロビーと2F企画展示スペース、多目的ホールにて開催します。大河津分水周辺に生息する魚や大河津分水で観察された野鳥などをパネルで紹介します。また、観察ポイントなども紹介しますので、ぜひご覧下さい。

講座に参加を希望される方は同封の葉書に必要事項を記入の上、投函下さい。なお、各講座とも定員に達し次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。

大河津可動堰改築事業起工式

新可動堰の本体工事の着工に伴い、下記の通り起工式が開催されます。分水太鼓が披露されるとのことで、関係者でなくとも見学できます。

日時：9月30日(土) 10:30~

会場：新可動堰工事現場

イベント報告

阿賀野川・阿賀川探訪バスツアー

6月12日13日に阿賀野川・阿賀川探訪バスツアーを開催し、流域の施設や史跡を巡りました。

1日目

- ①袋原の旧川跡
- ②泡の巻の旧川跡
- ③阿賀らん処
- ④五色沼毘沙門池
- ⑤安積疎水上戸取水口
- ⑥野口英世記念館・ガラス館
- ⑦十六橋水門・ファンドールン像

2日目

- ①鹿瀬発電所
奥阿賀ふるさと館
- ②阿賀野川文化資料館
- ③早出川捷水路
- ④満願寺閘門
- ⑤阿賀野川河口



阿賀らん処

阿賀川の治水や河道の変遷などが展示されている資料館で、地域の特産物の売店もあります。



阿賀野川文化資料館

資料館が船の形をしていて、中には水の流れる阿賀野川の模型がありました。

リレー通信

友の会リレー通信では、友の会会員の皆さんから信濃川や大河津分水にまつわる思い出などを書いていただきます。各号において執筆された会員から次の執筆者(会員)を指名していただきます。次に指名された方はご協力をお願いいたします。

子供たちを資料館に連れ出そう

友の会会員 織田島 利門

五十数年前の小・中学校の頃の蒲原の農村風景を時折思い出す。鎧漕や地域の川でヒシやハスを採ったこと、稲を満載したイナツミ舟(田舟)を見事に操る農家の人、水を含んだ重い稲のハザ架けの手伝い、泥だらけのトロッコを押す耕地整理の作業をする様子などをよく覚えている。それらの子供の頃の記憶が川に魅せられているベースになっているのではないかと思う。

蒲原地域の開発過程を追ってみると、水を治め、利水に生かしてきた先人たちの知恵と努力に出会う。そして、大河津分水の完成が幾多の困難な課題を克服してきたことに気づく。大河津分水の開削の歴史、先人たちの働き、水をコントロールする仕組みなどは子供たちが生き生きと学習に取り組める価値を含んでいる。十数年前までは広く、県内各地の学校で教材として取り扱われていたが最近では少なくなっている。そのせいとばかり言えないが大河津分水の働き・その恩恵などを知らない子供たちが増えてきているように感じている。

今、資料館を活用する意義がますます増大しているように思う。子供たちは遠足、社会科見学、総合的な学習などの学校の活動として、また、個人的に親子で、友達同士で来館する。調べたことを確かめるといような目的を持った人、あるいはそうでない人もいるだろう。資料館は様々な来館者のニーズに応えられるように、大河津分水・信濃川がよく理解できるように、構成されている。工夫された展示資料・映像・模型・実物などを見たり、触ったりしている子供たちの表情は潑刺としている。次代を担う子供たちが「また、資料館にきたい」との思いを持ったら、「しめた」ものである。

織田島さんのご指名は池田富春さんです。

今号の可動堰

新可動堰完成に向けて、可動堰周辺の定点写真を紹介します。

7月から9月までの期間は出水の頻度が高くなるため、大型機械を撤去し工事は休止しています。



右岸堰軸から撮影
(平成18年8月24日撮影)



右岸堰軸から近景を撮影
(平成18年8月24日撮影)